

# TOPICS

## 第2回 香川大学フォトコンテスト 2020\_part1

香川大学の魅力を広く発信することを目的として、Instagram を利用したフォトコンテストを実施しました。(応募期間：R2 7/1～8/30) 67点の応募作品の中から、学長賞1点、広報室長賞1点、アイデア賞2点、佳作1点が決定。表彰式を10月15日に行い、寛学長より賞状と賞品が授与されました。



左から、李さん、井上さん、寛学長、山神広報室長、富士見さん、ロン教授



学長賞 「シロツメクサ」 教育学部4年 井上 陸

提出物を附属教職支援開発センターに提出しに学校に来ると、日に当たる中庭のきれいなシロツメクサが目に入ったので撮影しようと思いました。全体の景色のおさまりが良くなるように、赤い給水管をアクセントにして撮影しました。あたたかい緑で、春のあたたかさや草木の生命力を表現しています。



広報室長賞 「静かな香大」 工学研究科 博士後期3年 李 森

色づく西空に差し込む一筋の陽、校内の街灯が照らす。木立を一人歩く。伸びた影と銀杏並木を見ていた。30sの露出時間を通じ、人物を取り除いたと同時に、水面を鏡に撮影。水に映った上下対称の影がたいへん美しい。広い範囲のブルーに、寒色系を使い、キャンパス内の“静”な雰囲気を表現しています。



アイデア賞 「祝日」 教育学部4年 井上 陸

今年の夏、教員採用試験の対策で毎日学校に来ていたので、曜日や休日の感覚がなくなっていました。そんな中、正門の国旗が祝日を教えてくれ、高く青い空との調和が心に残ったので写真に残そうと思いました。さわやかな空気を、空の青さと風を受ける国旗で表現しています。



アイデア賞 「quiet sign」 地域連携推進グループ 富士見 沙和

事務室で仕事をしていると、いつも熱心に練習する声や音が聞こえてきます。その日はテニスコートが静かで、それでも暑い日差しとコートについた跡からいつもの気配が伝わってきて、しかもずっと昔からのたくさんの学生の気持ちが蓄積されているような気がしました。静かで直線的なただのテニスコートですが、使い込まれたものが発する気配をじわじわと感じてもらえたらと思います。



佳作 「まぶしい太陽に 鮮やかな色」 教授 ロン リム

まぶしいほどの太陽の下に、鮮やかな傘の色が目に残り印象的で撮影しました。



# KADAIGEST 10 2020

年に一度のOB戦の時です。先輩後輩関係なく真剣勝負で楽しいです!



試合頑張りました!



ムードメーカーがホームランを打ちました! ナイスバッティング!



試合前の様子です。緊張しつつ、楽しみです。



遠征では古民家を借りてみんなで泊まりました!



秋季大会で準優勝しました! 四国内で好成績を残しています。

## 香川大学 ソフトボール部

皆さん、ソフトボールという競技をご存知ですか?ソフトボールの醍醐味は、野球にはないスピードとパワー、そしてチーム全員で準備をして全員で点を取りに行くところです。私がソフトボールの面白さに気づいたのは大学に入ってからでした。特に男子の試合や実業団の試合は、とても迫力があり圧倒させられます。香川大学には男女ともにソフトボール部があります。インカレ出場を目標に日々元気に練習しています。今年は新型コロナウイルスの影響で多くの大会が中止になるなか、私たちは四国地区で一つしかないインカレの代替大会の出場権を獲得することができました。

ソフトボール部の魅力は自分たちで活動内容や目標を決められることです。そのため、一人ひとりが目的意識を持って練習に取り組んでいます。大学から未経験のスポーツを始めることはハードルが高いと思いませんか?大丈夫です!未経験でも必ず上手になれるし、過去には引退のかかった試合でホームランを打った先輩もいます。私たちは「ソフトボールを楽しむこと」を一番のモットーにしています。初心者の方、大歓迎です!チームスポーツの楽しさ、ソフトボールの楽しさを私たちと一緒に体感しましょう!

活動場所・幸町キャンパス 経済グラウンド  
活動時間・男子：毎週月・火・木・土 女子：現在休部中のため要相談  
部員数・36人  
Twitter 男子 @kagawa\_soft 女子 @kagawa\_u\_soft



サークル歴3年 創造工学部3年 矢野安珠佳

# VOICE

デザインで香川に貢献。丸亀市春日神社の御朱印や三豊市「財田のむかしばなし」の看板をデザイン。



教育学部  
2年  
小笠原紘恵  
Ogasawara Hiroe

私は教育学部美術領域で、美術教育やデザイン、絵画や陶芸など美術教育者になるために大学で幅広く学んでいます。

私が丸亀市にある春日神社のアマビエの御朱印デザインや三豊市財田町のむかしばなし看板のデザインなど、香川県でのデザイン活動に携わるようになったのは、デザインをすることで地域に貢献することができるのではないかと考えたからです。

出身の三豊市財田町では地域復興や地域間でのイベントや交流が非常に熱心に取り行われています。私は幼い頃から地域の幅広い年代の方と交流する機会が多く、「絵を描くことが好きな子」というふうにご地域の方から知っていただいていたように思います。そのこともあり、高校へ進学してから「財田のむかしばなし」絵本・紙芝居の原画を描いてみませんかと声をかけていただき、今の活動に繋がっています。私の活動は、地域の方や友人、恩師など多くの方の支えや協力があって成り立っているのだと感じています。

制作にあたり、意識したのは「求められているものになっているか」ということです。財田のむかしばなしでは、次世代の子どもたちを中心に地元へ伝わる昔話を知ってもらうことを目的としています。そこで、子どもたちに興味を持ってもらうにはどのようなデザインであるべきかを考えデザインをしています。

私がこれまでに携わったデザインは、次世代に繋がるものになると考えています。看板や御朱印を見てくださった方、私の活動を知ってくださった方が、より地域に誇りを持つようになったり、そこから影響を受けて地域復興に携わるようになったりと、地域間でそういった刺激の連鎖を生むことができたとき、私はこの活動をやって良かったと改めて感じるのだと思います。

制作に携わったことで、改めて考えるようになったのが地域への誇りです。香川県には地域での繋がりを大切に、地元を愛する方が多くいるように感じています。私は活動の中で香川県の幅広い年代の方と接してきました。様々な方の思いや考え方、生き方に触れ、私の住む香川県にはこんな素敵な方がいるのだと感じる場面が非常に多くありました。

デザインは、視覚的に物事を伝えるだけでなく、制作に込められた思いを伝え、見た人の生活や人生に影響を与えることができるものだと考えています。子どもから高齢者まで気持ちが明るく元気になれるようにとの願いを込めて描いた御朱印のアマビエ。御朱印を受けてくださった全国の方から、「元気がもらえました」という温かい声をいただきました。

香川県でデザインに携わるには、自分から動き、人と繋がりを持つことが必要です。私は消極的で、自分に自信を持つことができませんでした。しかし、制作に携わる中で、自分が自信を持っていないとデザインにもその自信の無さが表れてしまうと気づき、自分を変える努力をするようになりました。私はこれまでの活動に留まらず、今後も香川県でデザインの活動を続けたいと考えています。そして卒業後、香川県の地域教育に携わることを目標に学び続けます。



授業外でもアトリエで絵を描くことも。

## 三豊市

## 小笠原さん おすすめスポット

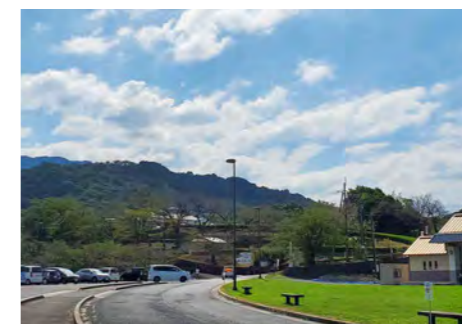


鮎返りの滝 (財田町・戸川ダム上流)  
春の若鮎が財田川を昇ってくる時に、滝の勢いが強く、返っていったことが名前の由来とされています。豊かな自然の中にある非常に神秘的な場所です。



父母ヶ浜  
(仁尾町)

約1kmのロングビーチを誇る海水浴場で、全国から注目を集める三豊市の観光地です。日本の夕陽百選にも選ばれた美しい景色には感動します。カメラを持って訪れる方が非常に多い場所です。



道の駅  
たからだの里  
さいた  
(財田町)

環の湯や物産館、ふるさと伝承館、パークゴルフ場などが集まっています。地元の野菜などを使用した美味しい料理や人気のアイスクリームも食べられます。春には美しい桜が咲く中で謎之丞祭りが行われるなど地元の方に愛される場所です。



春日神社  
アマビエ御朱印



財田のむかしばなし絵本



小笠原さんがデザインした財田のむかしばなしの看板

